

令和2年度 第2回

交野市水道事業経営審議会

議事要旨

令和2年8月26日開催

交野市水道事業経営審議会（第2回） 議事要旨

開催日時	令和2年8月26日（水）15：30～
開催場所	交野市星の里浄水場 会議室
出席委員	後藤会長、市岡副会長、谷野委員、森本委員、山崎委員、吉信委員、代永委員、富田委員（全員出席）
傍聴者	なし
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 交野水道事業の投資試算の概要及び財政収支均衡の取組について <ol style="list-style-type: none"> （1）前回の振り返り （2）「交野市水道施設整備計画（平成31年3月）」の投資試算の概要 （3）財政収支均衡のための具体的実施内容 3. その他 4. 閉会
資料	次第 資料1 交野水道事業の投資試算の概要及び財政収支均衡の取組について 資料2 民間委託化の状況 資料3 委員名簿
所管	交野市水道局 総務課

議事概要

1. 開会

事務局より、開会の挨拶

2. 議事

交野水道事業の投資試算の概要及び財政収支均衡の取組について

(1) 前回の振り返り

事務局より、資料1「交野市水道事業の投資試算の概要及び財政収支均衡の取組について」11ページまでを説明

— 以下、質疑応答 —

会長

今説明していただいた項目について、前回の審議会以降、特に変更はありますか？

事務局

若干異なっている部分がございます。10ページ下段、令和2年度以降の料金収入予測で、人口推計は前回、交野市水道ビジョンに基づいていましたが、交野市人口ビジョンに基づいての算定としております。

会長

各委員さん何かご意見があればお願いします。

委員

交野市工業会としては、市内106社の企業や会員がいるので、比較的一般住居よりも使用水量が多く、水道料金値上げに関する関心度は非常に高いので、こちらで審議した内容を今後理事会等で話させていただきまして、また改めてご報告させていただきたいと思います。

委員

10ページ、収益的収入の受託工事収益は、こういった形で受託工事を実施したのか。また、こういったものがあったのかお聞きします。

事務局

大阪府で前川改修工事というのがありまして、この工事の中に交野市の水道管が埋設されている部分がございますので、工事するのに移設してほしいとの依頼がございましたので、水道局で配管移設を行った時の、事務手数料10%込みの費用をいただいた分です。平成29年度以降、前川改修工事での水道局部分は完了しています。

委員

この度のコロナ禍によりすごく打撃を受けており、その中で水道料金の値上げをされるということは、非常に大きいダメージがあるのではないかと考えま

す。

委員

9ページの星の里浄水場の事業費約48億円と私市ポンプ場の事業費約32億。これが借金増の一番の要因かなと思うのですが、星の里浄水場が平成24年に完成したときに、こういう話はなかったのですか？

事務局

平成24年度に一度内部で検討させていただいて、将来的に、10年後には水道料金を値上げしないとたないのではないかと、その当時内部で話がありまして、10年以内には必ず手を打つよという形で、今ようやく水道ビジョンを作り上げて検討していますが、もっと早くかかれていれば、そのようなことにならなかったのは確かだと思います。

委員

水道料金値上げというのは、市民に負担をかける形にはなるのですが、遅らせれば遅らせるほど大きな見直しになっていくと思いますので、できるだけ早く手当てをしていかなければならないのかなと、この資料を見て思いました。

委員

10ページのその他収入は何が入っているのですか？それと、人口が減少していくことを考えると、設備も更新していかなければならないと思うのですが、全部更新していくという見通しなのか、人口減少に合わせてスクラップアンドビルドで、更新しないでそのままつぶしてしまうものがあるのか、どちらを前提として考えているのでしょうか？

事務局

その他収入ですが、下水道料金の徴収委託料や新築に伴う水道工事検査手数料等でございます。また設備更新ですが、浄水場と送水ポンプ棟を昭和45年に建てたのでもう限界に来ており、耐震化もしなければならず、その事業を始める時に府営水が当時88円ぐらいで、自己水と比較した場合のどちらが最終的に得かということで、建て替えて安い自己水を増やした方がその当時借金が減るという結果が出たのでそれに基づき、やっていこうとなりました。

(2)「交野市水道施設整備計画(平成31年3月)」の投資試算の概要について事務局より、資料1「交野市水道事業の投資試算の概要及び財政収支均衡の取組について」12～16ページを説明

— 以下、質疑応答 —

委員

9年先までのシミュレーションは長すぎて、総額70億円必要となると、料金を今後考えるにしても、星田北の開発も含んでしまうと高額な料金になってしま

い、財政シミュレーションに現実味がない。例えば5年先ぐらいを見込んで検討していく方法とか、基本的には水道ビジョンのシミュレーションと実際の事業の成り行きは相当変えていかなければならないと思います。例えば70億円を必要最小限の整備にして、2～3年先の状況を見ていけばおそらく、星田北の開発も大規模な物流倉庫ができたり、人口もある程度増えてくると、料金収入も変わってくると思うので、今この段階で9年先の話を決めると実際の話とは離れてくると感じました。

事務局

水道ビジョンは厚生労働省が50・100年先を見据えて作成しなさいという、大きな夢のプランというところがございました。また、アセットマネジメントという資産評価みたいなものがございまして、施設がどのくらい傷んでいて、どのくらい資産をもっているかということで、今後いくらかかって、どうしなければいけないか、というのをさせていただいたところ、今後100年で823億円の修繕がかかってきますと。そして財政収支計画も40年で作っているのですが、100年間継続させる工事を行っていくためにはいくら必要かという考え方で作ったものですので、実際これをやり切れるか、本当にそこまで必要なかというのはこれから精査させていただくところが大きいと考えております。まずはそこから切り取った10年間の施設整備計画を先に作らせていただいたのですが、この10年でも70、80億というお金がかかってきますので、その中でいかに必要なものを選び取って、われわれが頂いている料金収入の中で賄っていけるかというのを、マンパワーの不足している中でできる計画として、今後考えていきたいと思っております。

委員

老朽化した管路の更新なのですけれども、何年ぐらいから始めるわけですか？

事務局

傷んだ管は絶えず毎年更新しています。

委員

管路が9年で約70億、毎年7億～9億と結構大きい数字の目標が出ていますが、短期でもう少しコンパクトな数字を出していないと、なかなか周りに理解してもらうのは困難かなという印象を持ちました。

事務局

優先順位を明確にしていけないと、水道ビジョンをそのままやっていくというのは理想論で、金銭面の問題もありますので、耐用年数、一番傷んでいるところ、要望のあるところという形で計画を練っている最中でございます。

委員

每期約7～9億円の投資というのは、もともとわかっている額だと思うのですが、けれども？

事務局

星の里浄水場と私市ポンプ場の耐震化工事が終わった後、次の計画が考えられておまして、その中で浄水場・ポンプ場整備計画を処理した後に、残った部分は管路になってくるのですが、その部分で整備費がかかってくる部分もあり、なかなか手が回っていなかったというのが現状でございます。今後、ポンプ場工事が終わったところで、その後に管路の方に向けてという考えはあったのですが、その間の整備が進捗していない部分があったので、もっとしっかり考えて段階的にとということもあったのですが、今に来てしまっているというところが大きな反省点であるかなと思います。

委員

たまにニュースで大阪市や京都市とかで配水管が破裂して漏水して国道が通行止めになったとか見受けしますが、そうなる前にお金をかけて管路の更新をしていただけたら、市民のみなさんも安心して水を使用できるかなと思います。古い管というのは、管の中に錆がどうしても出てくるので、この水を飲んでいるのかなと思うほど古い管はたまにあります。なので、このように計画していただいて、まずは漏水しないように更新し、後は古い管をどんどん更新していただけたらなと思います。

委員

今回、この計画で今示している計画が少し事務局的にも見直す余地があるような話が出ましたから、そこをしっかりと見直していただいた方が良いと思います。ただ、見直した上で、やはりやらないといけないことが絶対出てくると思うので、そこはきちんと出来るような計画で料金の方でも市民の方にもご協力いただくという形でしっかりと整理していかなければいけないと思います。

委員

コロナで相当国がお金を使ったので、財政赤字がよりひどくなって、コロナが収まったら増税すると思われまます。増税するのはどの税目かと考えたら、おそらく消費税以外ないだろうと。そうすると、設備費にも消費税がかかりますから、10年後は、これよりたぶん厳しくなるのではないかなと思うのですが。

事務局

消費税の値上げもありますし、人件費も最近高騰して設計部分も上がっておりますし、また管路の素材等もどんどん上がってきていますので、例えば10年後と今と、まったく同じ値段でできるかということとそのようなことはないかなと思いますので、これも加味しながら考えていかなければならないと思います。

委員

人口予測というのは、いろんな経済予測の中で最も正確に未来予測ができる統計なので、それに見合った設備投資更新をして少し縮小していかないといけないのではないかなと思うのですが。

事務局

10年計画の中でも、管路の縮小ダウンサイジングとかも考えながら入れているのですが、さらにもう一步踏み込んで本当に必要な部分を最小限にやっていくという考え方を元に、また練り直していきたいと思います。

(3) 財政収支均衡のための具体的実施内容について

事務局より、資料1「交野市水道事業の投資試算の概要及び財政収支均衡の取組について」17ページ以降説明

— 以下、質疑応答 —

委員

水道料金が主に財政立て直しの最終の段階になってくるということで、市民の方たちも安心して持続する水道ということできると、これだけ多く負担しても水道局がいつも安心安全で、災害が起こっても復旧が早くできるような頼れる水道局になってもらいたいという思いがあります。施設の更新とかは高い程良いと思うのですが、基本的には管路の更新を先にするという方針も出しておられるみたいですので、肅々と初めの何年かはそれを精力的にするというような形にしないと、いくら施設が新しくても最終的に水が届かないという事態が起こりますので、この今の流れのまま見直しを更に進めていただいて、また、財政を立て直すような計画の期間も決めていただいて具体的な数字をわかりやすく出していただけたらいいのかなと思います。

事務局

こちらの方は若干、星田北等の開発を織り込んだ現状の見込みということでございますので、さらにもう一段、条件を超えた場合どうなのかというところもお示しできるような形で、具体的な手段というものを今後さらに資料としてお示しして、これで少しはどうかかなるのではないかとこのところを探っていきたいというふうに考えております。

委員

項目1つずつ見ると厳しい内容になっているなど。さらにこれを縮小して作っていくとなるとなかなか至難の業ではないかなと思いますけど、基本的に相対的に料金改定されて、適当な時期に料金改定されていたら、財政的に当然もう少し緩やかなカーブになると思うのですが、今さら遡っても仕方のないことなので。

期間を短くするなり、もう少し具体的に説明するなりしていただけたらいいと思うのですが。

事務局

管の問題というのは、交野市独自の古いとか駄目だとか言う問題ではなく、全国的に傷んでいるということ。安心安全な管にしないといけないという使命は持っています。ただ、お金の問題が出てきますので、きちっとした優先順位を決めさせていただいて、提示をさせていただいて納得していただくような資料を今から作っていかないといけないと思っております。

委員

大阪広域水道企業団と統合というところで、統合の内容というのがよくわからないのですけれども。

事務局

今も交野市の水道局も一部事務組合というゆるい形が入って入って、今後の統合については、経営統合ということで経営を企業団と一緒にやっていく形になります。交野市の府域の水道の末端の経営は、交野水道センターがやるという形で、企業団の用水という、今まで問屋さんのように村野浄水場から買わせていただくものと、用水と末端の会計が別々に平行しながらやっていくというのがまず第1段階目の形になります。ただ、職員の身分とか施設は全部企業団のものになりまして、水道局自体も企業団の財産になります。

委員

いずれは料金値上げという方向で行くのでしょうか？

事務局

今考えておりますのは、水道ビジョンに示した10項目の実施項目を検討していただいて、ここまで考え抜いたとして、まずはどこまで効率化、健全化を図れるのかということをご議論いただいて、次のステップがあるかもと考えております。

委員

地下200mのおいしい水を供給するということになりますと、一定の負担を求めていかざるを得ないのではないのかなと。今現実に見直しが出来るところから一歩進んで、安心安全な水を飲ませてもらうためには一定の負担はしょうがないのかなと思う雰囲気が、事務局の説明を聞いて、自分の中で湧いてきました。

委員

安心安全な水を市民の方へ供給するためには、致し方ない値上げかなと思うので、それを市民の方にも伝わるような形をとっていただけたらと思います。

委員

資料27ページ、財政収支均衡のための実施内容の⑩経営情報の公開及び見直しで、現状の広報・ホームページにて決算を公表とありますが、今後も同じようにということで書いておられますが、広報・ホームページに公表してるから見てくださいだけではちょっと足りないのではないかなと思います。これだけ厳しいということを積極的にPRしていかないと、なかなか市民の理解も得られないと思

いますので、出前講座等いろんな場所でPRすることが必要ではないのかなと思います。

委員

広域との統合の話がありましたので、企業団に所属する委員としてお話をさせていただきます。大阪広域水道企業団と各市町村と、これまで統合の話はだいぶ進んできていまして、府域でだいたい3分の1ぐらいの市町村が統合していこうかなという動きになってきています。まず、町村のほぼ全部が統合という話になりまして、市町村では四條畷市が一番最初に来られ、また南の方の市町村もどんどん統合していこうという形になってきています。

いろんな意味で、広域化というのはある種メリットもあるだろうなというのは今後しっかり見ていかなければいけないと思っています。ただ、各市町村ごとに環境や状況も違いますから、直ちに統合した方がいいというものではない場合もあると思います。また収支均衡の話ですが、これまでに統合した市町村につきましては、統合する時に、いろんな事業をしていかなければならないということと、収支がどうなるかというのをしっかり検証して、それぞれ統合する時には何年後には料金を値上げしなければならないと表に出して、しっかり議論した上で統合していくという形になっています。

委員

資料22ページで、交野市の料金回収率が低いというのはどうしてなのでしょう？100%を下回っているというのは払わない人がいるということですか？

事務局

作る原価が売る供給単価よりも上回ってしまっているという形になっています。ようするに、売れば売るほど赤字がちょっとずつ増えていますよということです。また、人口の問題もありまして、交野市は7万7千人ぐらいなのですが、7万7千人の水を作るのに10人かかっても、30万人の水を作るところでも人数はそう変わらないので、そうすると原価が高くなる。ある面で言いますと小さいところがスケールメリットを活かせてないのではないかなというふうに思います。

委員

なぜ他のところより高いのか、市民の方たちにもこういったことを説明しないといけないですね。

事務局

そのPRを出前講座とするのか、広報とするのか。広報のページは今後活用できるようにとっていまして、交野の水の現状をどんどん市民の方にわかっていただくというような計画は今立てております。

委員

資料22ページで、平成12年度に約15%値上げして、平成15年度に消費税を

外税化していますが、この時に将来予測をしていると思うのですけれども、この時に20年間上げなくても大丈夫と予測を立てたのでしょうか？

事務局

水道局としては、値上げは4年に1回との提案はしてはしまして、ただ、いろんな問題があって上げられなかった。力量がなかったといえばそこまでなのですが、20年間上げなくて済むような計画というのは、今立てられないと思います。当時から、3年に一回又は4年に一回の計画は立てたのですけれども、料金改定が叶わないから結局起債でお金を借りたという形で起債がどんどん増えたという現状になっています。それをこれ以上起債を増やすことが出来ない上限まで来ましたので、やはり料金改定も視野に入れなければならないかというのが現状でございます。

会 長

様々なご意見、ご質問等ございました。これらを踏まえまして、今後も議論を進めて参りたいと思います。

それでは、本日の議事はこれまでといたします。

3. その他

第3回開催予定等について事務局説明

4. 閉会

以上